

地域別意見交換会の概要

2022年2月2日

安芸高田市 企画部 政策企画課

1. 地域別意見交換会の概要

- 立地適正化計画の内容について、吉田町を対象として、地域別意見交換会を実施しました。
- 前回意見交換会の振り返りと、今回策定委員会で協議する立地適正化計画の基本方針、誘導区域・誘導施設・誘導施策、防災指針、目標値の設定について説明したのち、地域の代表者（地域振興会、商業、病院、金融機関）と意見交換を行いました。
- 次頁以降に、意見交換会での主な意見と事務局の回答・対応方針を項目別に整理しています。

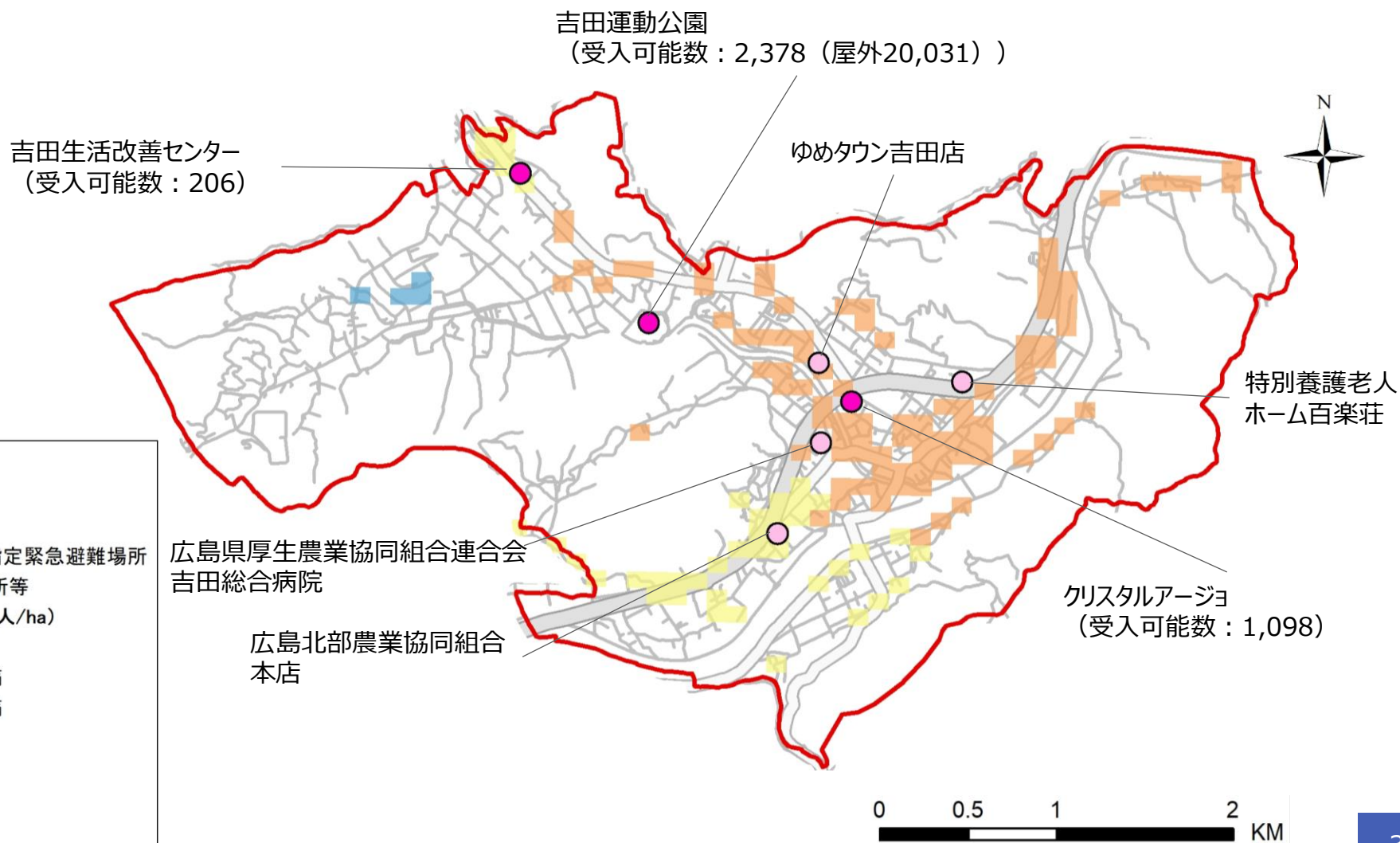
対象	吉田町の各組織の代表者（地域振興会、商業、病院、金融機関） ※新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として参加者を限定
実施期間	12月26日（月） 14時00分～15時30分 クリスタルアージュ 小ホール
内容	立地適正化計画の資料をもとに説明し、参加者との意見交換を実施した。 (1)前回意見交換会の振り返り 市の現状と課題、都市計画マスタープランの全体構想、分野別方針、地域別構想について説明。 (2)立地適正化計画の説明 基本的方針、誘導区域・誘導施設・誘導施策、防災指針、目標値の設定について説明。 (3)地域の要望の聴取 立地適正化計画等に対する参加者との意見交換。

2. 意見交換会で出された意見とその対応

項目	意見・指摘内容	事務局回答・対応状況	関連資料
誘導区域・誘導施設・誘導施策	誘導施設に設定されると、現在の場所から移転ができなくなるということか。	そういうわけではない。誘導施設は市の中心拠点に重要な機能であり、休廃止や移転がある場合は影響が大きい。そのため、届け出をしていただく必要がある。また、届出をしていただくことにより、移転先の提案等を市としてもできるのではないかと考えている。	計画素案 p87、98-101 (6章)
防災指針	ゆめタウン吉田店は包括協定を結んでいるため、避難場所として資料に追記していただいて構わない。結構な人数を収容できる。もう少し避難できる方が増えるかと思う。	この資料には避難場所、避難所を示しているが、協定を結んでいる場所は入れていない。協定により避難が可能な場所として、資料に反映する。	計画素案 p113、118 (6章)
その他	議会は本計画をどの程度認識されているのか。	大きな流れとしては、住民の方から意見をいただき、その後、学識経験者を含めた策定委員会で説明する。いただいた意見を踏まえて、それらを資料に反映し、議会に説明し、意見をいただいくつもりである。	—
その他	早い段階から、議会からも意見をいただいくのが良いかと思う。	既に議会のほうにも定期的に説明を行い、意見をいただいくところである。	—
目標値の設定	目標値として、「自主防災リーダーの養成」とあるが、現状の方がリーダーかわかっていない。もう少し横の連携が取れるようにできないだろうか。	ご指摘の通り、課題であると認識している。まずは自主防災リーダーとして立ってもらおうとしているのが現状である。ただ、 今後はさらに顔が見えるようにしていくのが重要であると考えている。	計画素案 p122 (6章)
目標値の設定	消防の方から地域振興会に対し、訓練を実施したいとの連絡があるが、自主防災のリーダーが誰かわからず、誰に連絡してよいものかわからない。消防も含めて連携できれば良いと思う。	例えば、自主的に避難訓練を行っていただく際や、地域振興としても、危機管理課と連携して取り組む必要があると考えている。 ただし、目標は定量的でモニタリング可能であることが望ましいため、自主防災リーダーの人数とする。	計画素案 p122 (6章)
目標値の設定	マスタープランの目標値として防災リーダーの育成というのは適切なのだろうか。	防災リーダーは、災害が発生した際に、地域の方の避難等に迅速かつ適切に対応する自主的な取組を行うリーダーとして、地域防災計画の中で既に位置づけられている。目標値として、都市計画区域に要る自主防災リーダーの数を定めている。防災のためにはハード対策だけではなかなか難しく、最後はソフト対策が重要になると考えているため、このように設定している。	計画素案 p122 (6章)

(参考) 防災指針

○防災指針について、地域別意見交換会でのご意見等を踏まえ、協定による避難所等として、ゆめタウン吉田店を追記しました。



(参考) 目標値の設定

- 居住誘導、公共交通、防災の観点から、それぞれ目標値の設定を検討しました。
- 目標値は本計画の実現に向けて、計画の達成状況の進捗管理ができるよう、定量的でモニタリング可能であることが望ましいです。
- また、防災に関しては、防災上の課題から、ハード及びソフトの両面から対策が必要であると言えます。さらに、地域防災計画、国土強靱化地域計画の内容も踏まえて、以下の通り目標値を検討しました。

	目標指標	現況値	目標値
居住誘導	居住誘導区域内の人口密度	22.9人/ha (2020年)	現状維持 (2040年)
公共交通	公共交通利用者数	103,290人※ ¹ (2019年) (お太助ワゴン)	現状維持 (2040年)
防災	多治比川の河道掘削、橋梁架替等	実施中 (2022年)	実施完了 (2027年)
	安芸高田市地域防災リーダー※ ² の養成	38人 (2018年)	60人 (2024年)

※¹：路線別1日あたり乗車人数 (330人) に、運行していない日曜日を除く年間 (313日) を乗じた数

※²：自主防災活動を行うリーダー